

寛政九十八年四月廿二日
小倉町三丁目 吉屋 日記

月更秋 暮月急

秋の心はけろく一銭

ちきり多しものよ月を

みよるもの

あはれはくあるきし枕の

まよふもたしはあまの

月乃しけふ

彦

十